



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2023～2024年度 RI会長 ゴードンR.マッキナリー
RIテーマ 世界に希望を生み出そう

クラブテーマ「芽生えた双葉を育て、希望の花を咲かせよう！」

会長 岡良森 幹事 篠木喜世

第1536回例会 2023.7. 21(金)晴

司会：鈴木俊也君

ロータリーソング「日も風も星も」 指揮：高村勝則君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 岡 良森君



梅雨が明けました。本格的夏の到来です。熱中症には充分お気を付けていただきましてお過ごしください。先週の私の生活は、音楽weekでした。10日は、西クラブの大先輩の諏訪部さんの追悼及びウクライナ支援コンサート、15日は、当クラブ篠木幹事も出演した“どどばーず”ジャズライブ、16日は南米アンデス地方のfolkloreの演奏会に行ってきました。ジャンルはそれぞれ違いましたが、楽しいひと時を過ごせました。

そして来週は、私の中では、国際交流週間となります。28日から、アメリカ西海岸パサディナから高校生9名を一週間受け入れ、富士山登山や三島しゃぎり実演など、日本と三島を体験していただくために働く予定です。当クラブ大村君もお手伝いしてくれます。

ところで、皆さんにお尋ねします。連れ合いの方も含め、三島生まれ三島育ちの方はいらっしゃいますか？ 私は、生まれは名古屋、親父の出身地は静岡で、母親は石川県です。名古屋で育った後は、東京、名古屋、埼玉、東京といった感じで、この三島には30年前に来ました。長女以外は三島生まれの三島育ちです。

先日テレビで観たわけですが、各地方・各地域には伝統的な食べ物があります、秋田のきりたんぼ、山形の芋汁、静岡丸子のとろろ汁など、代々伝わるそれぞれの故郷の食は、どのようにして継承されているかを考えました。大抵は、先代のお母さんが息子の嫁に作り方を一から教え伝統を繋いでいます。また、次の世代も同じように。

その地域の伝統を守る原動力は、他の地域から縁あって関わってくれた人の熱意などだったりすることも多いのではないのでしょうか。私も今となっては、私のマイタウンは“三島”です。JFKではありませんが、この街のために何ができるかを考えながら生活する今の暮らしが気に入っています。

今回取り上げる“乗り鉄”ネタは“或る列車”です。

これは、JR九州が所有する車両です。JR九州では、かなり前からイベント列車の製造及び運行に力を入れております。その極みは今回紹介しませんがあの超豪華寝台特急“ななつ星”です。ななつ星の成功を受けてJR西日本やJR東日本でも豪華寝台特急を開発しております。

この“或る列車”は2両編成です。デザイン設計は水戸岡鋭治氏です。旧車両を改装しました。金額は1両あたり3億円かかりました。ななつ星も彼のデザインなのです。

この車両の内装は、地元九州の木工技術を沢山取り入れたものですが、外観は、特別なものをオマージュしております。それは、鉄道模型製作の日本の第一人者である原信太郎氏が作成した車両の模型です。それ以上の解説は省略させていただきます。なぜなら、親睦委員会で進めていただいております夏の家族会では、横浜の原信太郎鉄道模型博物館見学を予定しているからです。ぜひ、夏の思い出に多くの会員の家族の皆さんのご参加をお願いいたします。

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	31/36	86.11%	32/36	88.90%
今回	25/35	71.43%	会員総数	37名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(和)君、伊丹君、小島君、小林君、土屋(和)君、土屋(巧)君、服部君、原君、三輪君、吉村君

(*出席免除会員の欠席者 遠藤君 片野君)

おめでとう

会員誕生日

7月25日

大村典央君

8月 3日

高村勝則君



クラブ協議会

SAA委員会

委員長 鈴木俊也君

今年度の会場監督委員会は、コロナ禍も一段落したことで、いろいろな縛りも緩やかなものになりました。スムーズで品位ある例会になるよう務めてまいります。会場内のより良い雰囲気作りに努力していきます。

出席委員会

委員長 高橋大輔君

例会はロータリー活動のスタートであり、親睦や奉仕活動に繋がる大切な時間だと思います。出席委員会の目的は、例会出席率を上げる事に尽きると思います。例会出席は勿論のこと、クラブ活動の出席やメイクアップの呼びかけにより、出席率を高めて行きたいと考えています。皆様の御協力を宜しくお願い致します。

親睦活動委員会

委員長 田村康晃君

本年度は『楽しくなければロータリーじゃない』と言うスローガンにて活動を行うつもりです。その為には委員会メンバーのみならず全員のメンバーにも協力していただき家族会等を盛り上げて行くつもりです。参加してくれる家族やゲスト等にもロータリーって楽しいと思って頂けるよう行うつもりですので宜しくお願い致します。

公共イメージ委員会

委員長 山口雅弘君

マスメディアへの情報提供

各イベントの事前情報をマスコミへスケジュール情報を提供する。

公共イメージに関する情報収集と発信

公共イメージ委員会、または会長幹事に公共イメージに関する情報を定期的に実施。

地域のみならず他地区、他地域の情報収集を行い発信し会員の意識向上を後押しする。

ハッシュタグキャンペーン

期間:2023年7月1日～2024年6月30日

対象:FB、インスタグラム、ツイッター

内容:ロータリーを知ってもらう全ての活動

推奨:可能な限りリアルタイム(古くない話題)

エモーショナルな動画を作成し発信する。

カウント:クラブ単位

経過報告:ガバナー月信

必須ハッシュタグ #ri2620せせらぎ三島

プログラム委員会

委員長 大庭靖貴君

今年度の年間プログラムは35周年記念事業、IM等を参考に計画しました。卓話等の日程変更の場合には早めのご連絡をお願い致します。また卓話の変更は基本的に本人の責任で代理人を探していただきます。なお、例会は原則月3回ですが、IMの日程の関係上2月のみ月4回となります。1年間宜しくお願い致します。

職業奉仕委員会

委員長 藤川智徳君

職業奉仕とは一体何なのか、その正体について自分の勝手な見解を話させてください。

職業奉仕とはロータリー特有の言葉です。当然、辞書にも載っていませんしその性質は有形無形なためにロータリーの色々を調べてみても正直あまりよくわかりません。社会奉仕や国際奉仕などは社会・国際という風に奉仕する相手先をうたっているのので解りやすいともいえますが、職業奉仕となるとなんだかいまひとつ、ピンときません。ですから自分なりに考えてみました。まず職業だけで考えれば、利益・お金を儲けることは確かに目的の一つではあります。反対に奉仕とはそれによってお金を儲けることはありません。むしろお金がかかります。一見相反するこの言葉がなぜ一つになったのでしょうか？良く考えてみると奉仕活動をしていくには実は5つ以上の必要項目があります。それはお金、時間、知恵、情報、労力や人脈などです。最低でもこのどれか一つ以上がなければ奉仕というものではできません。では、この奉仕活動をする際の必要項目の原資は一体どこからくるのでしょうか。そうなのです。それは僕らが日々活動している職業から得るもの利益・経験・知恵・情報・労力、人脈などです。驚くことにこの職業から生み出す成果物と奉仕活動に必要とされる項目とはIN-OUTこそ逆ですが、その項目は面白いくらいにほぼ一致します。その昔、ウイストン・チャーチルが言った「人は得るもので生計をたて、与えるもので人生を築く」という言葉は実は職業奉仕の本質を表したものと受け取れます。ただ大事なのはここからで、仮にロータリーに所属していない人でも高潔に仕事をして奉仕活動を行っている人はいます。これも意味としては職業奉仕と言えるかもしれませんが。しかしロータリーの職業奉仕と個人でやる職業奉仕との間には大きな違いがあります。それは僕らがクラブに所属し運営していくことで職業で得た成果物や原資そのものを社会奉仕・国際奉仕・青少年育成の活動につないでいく役割となり、また組織として動けばより大きな活動も期待できます。ロータリーの超入門 職業奉仕の入り口 で調べればすぐに出てくる「ロータリーの樹」では職業奉仕の位置づけを大樹の根幹部分としています。大地からの水や栄養分を枝葉に伝えていく役割です。人間の身体で例えるなら職業奉仕は心臓や血管の役割であり、パイプ役として社会奉仕・国際・青少年育成活動へと血液を送り込みます。と、以上の事などから僕が予想する「職業奉仕」には3つの意味があります。

1つ目は

「職業で得た成果物を用いて奉仕活動全般に寄与すること」

2つ目は

「奉仕の連鎖・循環」を目指していること。

奉仕によって自立できた人や青少年が今後、職業を通じて奉仕する側に移行できるように導く活動。

そして3つ目は

「ロータリー会員がお互いを認め合い協力し合える事」です。

ロータリー会員であることは既に誰もが職業奉仕人です。

本来、奉仕ができる人と言うのは、心にゆとりがある人です。だからここは心にゆとりがある人たちの集まりです。

だけど、人間は心にゆとりがない時期もあれば、熱心に活動していく時だってあります。その結果、温度差を感じることもあるでしょう。僕たちはまず、そんな仲間を認め合い、お互いを理解しようとする気持ちがとても大切なような気がします。そして、ここにいる誰もが居心地の良い雰囲気である、そんなクラブであることを切に願います。

皆さんももっともっと楽しいクラブにするために、お互いを認め合っていくきましょう。

一年間どうぞよろしくお願ひいたします。

情報文献委員会

委員長 高村勝則君

メンバーの皆様にとって有益なロータリー情報を迅速かつ正確に伝える様努力して行います。またやむを得ない諸事情で出席できなかった方々へ例会の状況等わかりやすく伝わるように努力致します。

社会奉仕委員会

委員長 野村諒子君

ロータリーにおいて社会奉仕とは、ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理念を適用することを奨励、育成することであるとされていますが、令和5年度の社会奉仕委員会の活動目標は、社会の課題に向き合い奉仕の理念を再確認すること等を目指して取り組みたいと思います。まず、「古着deワクチン」事業を今年度事業として始めました。皆様のご協力に感謝します。その他の今後の事業の詳細は、皆さまからのご提案などもいただきながら、順次計画していきたいと思っております。また、せせらぎ三島RCの35周年事業も計画されていますが、社会奉仕委員会としても協力していきたいと考えていますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

国際奉仕委員会

委員長 大村典央君

昨年に引き続きカンボジアの小学校で井戸を掘削し寄贈する予定です。現時点では、タケオ州の小学校を予定しており、令和5年11月下旬に視察と贈呈式出席の為の渡航ツアーを考えています。地区補助金対象事業ですので、多くの方の参加をお願いします。

35周年記念事業実行委員会

委員長 山口辰哉君

平成の幕開けとともに始まった我がクラブも、はや35年目を迎えようとしています。岡会長から記念事業実行委員会の責任者を命ぜられた以上、会員の皆様のご協力をいただきながら感動を呼び込めるような事業活動が実施できるように最大限の努力をしたいと思っております。また、皆様にはそれぞれの役割を担っていただく委員会に入ってくださいませ。今後、理事会や必要に応じて開催されます実行委員会において皆様のご意見なども賜りながら進めてまいります。今年度は当クラブから米山晴敏君が静岡第一グループのガバナー補佐に選出されており、IM(インターシティーミーティング)の事業に続いての35周年記念事業の実施になります。併せて、せせらぎ三島ロータリークラブの底力を発揮していただけることをお願いいたします。



スマイルボックス

山口辰哉君:せせらぎ三島35周年記念事業の実行委員長を仰せつかっています。皆さんにはそれぞれの役割を果たしていただくこととなります。IMもあり、大変ではありますがぜひともご協力をお願いいたします。

明日はバイレーツ戦です。大谷先発の予定です。日本時間10時38分プレーボールです。ごめんなさい、バツジ忘れしました。

野村諒子君:いよいよ夏です！皆さん暑さ対策しましょう。「古着deワクチン」ご協力ありがとうございます。持ってきていただいた古着は「ジモット」で預かり、佐川急便で送らせていただきます。ラインに場所をお知らせします。よろしく申し上げます。

ROTARY NEWS

RI会長メッセージ

2023-24年度会長 ゴードン R. マッキナリー

新たに深刻な課題に直面している中でも、ロータリーは会員と世界の人びとのために動き、恒久的な平和を築くために尽力し、すべての活動にピロギング(帰属意識)とインクルージョンを浸透させています。だからこそ、私はロータリーの皆さんに「世界に希望を生み出そう」と呼びかけているのです。

今年度はメンタルヘルスを支援するためのプロジェクトを優先的に行っていきます。この取り組みは、個人的にも非常に重要なものです。誰かが声もあげられずに苦しんでいるのを見守るというのがどういふことか、私はよく知っています。また、人と人がつながりあうことの力や、こころの健康と幸せについて話しあうことの価値、予防的ケアと治療がひとりの命を救うことをこれまで目の当たりしてきました。研究によると、自分の幸せを守る効果的な方法は人に親切にすることだと判明しています。そして、心の平安を得ることによって、私たちは世界に平和をもたらすことができるようになります。

ロータリーの本質は平和を築くことにあります。私たちの奉仕プロジェクトの多くは、積極的平和のための土壌づくりです。障壁を乗り越え、新たなつながりを築くために、ロータリーはたゆまぬ努力を続けています。今年度は、こういった大切なつながりを強化するために、会員間のバーチャルな国際交流を促進します。平和は夢ではなく、受身的なものでもありません。一生懸命努力し、信頼を獲得し、難しいかもしれませんがオープンな会話をすることで得られるものです。平和は粘り強く、勇敢に実践しなければなりません。ロータリーの重点分野全体で私たちが行うありとあらゆる活動が、平和を可能にする希望を育む力をひそめています。人とのかつがりと目的意識が、あらゆるロータリー会員を奮いたたせてくれることでしょう。素晴らしいクラブ体験を提供できるようにクラブのリーダーが尽力すれば、より多くの会員を維持することができ、より多くの入会候補者がロータリーに関心を持ってくれます。これ以上なく居心地のよい、これ以上なく魅力的なクラブを築きあげましょう。

クラブの例会から奉仕活動まで、帰属意識を高めることが目標です。誰もが自分らしくられる、包括的で居心地のいい環境を作りつづける必要があります。ありとあらゆる行動人が「ロータリーには自分の居場所がある」と思えるような場所にする必要があります。そうできるかどうかは私たち次第です。今年度、私は多様性、公平さ、インクルージョンの取組に焦点を当て、全人類により良く奉仕するために、ロータリーが奉仕するコミュニティを反映するようにし、人間の持てる才能と経験のすべてを活用するための重要な方策を引きつづき講じていきます。また、女性や女兒が兼ねそなえている可能性を解き放つのを助けることによって、女性や女兒のエンパワメントを続けていきます。

今年度の旅を共に始めるにあたって、私はスコットランドの国民的詩人ロバート・バーンズを引用したいと思います。18世紀にバーンズは、全世界が親族になり、「良識と真価を全世界に広める」ことについて語っています。これはこれまでの人生で私にとって行動への呼びかけとなってきたもので、今皆さんと共有したいと思います。

内なる平和を築き、それをどんどん広めていきましょう。帰属意識を育て、ロータリーの未来を新たに思い描きましょう。ともに楽しく力を合わせて、世界に希望を生み出しましょう。